

(令和4年4月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水産物全般	<p>4月は、3月下旬に新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止等重点措置が解除されたことを受け、業務需要の回復がみられたことから、総入荷量は前年同月並みとなり、総取扱金額は前年同月比で8%上回った。</p> <p>5月はいさきの漁獲量が増え安定して入荷する。</p> <p>刺身や焼き物で食べられることが多いが、くせのない魚であり、またこの時期、脂がのっているため、ムニエルや煮つけなどでもおいしく食べることができる。ぜひこの機会にご賞味ください。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月並みとなり、単価は飲食店などの業務需要が伸びたことから19%上回った。</p> <p>品目別には、まだい(天然)、はまち(天然)の入荷量は前年同月を上回り、単価は上回った。さわら、すずきの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で17%下回り、海外需要の増加により、単価は17%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷えびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷さばの入荷量は前年同月を上回り、単価は上回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は10%下回った。</p> <p>品目別には、塩銀さけ、すけそうこの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。ちりめんの入荷量は前年同月を下回り、良質物の入荷が少なかったため、単価は下回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	和歌山，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で30%上回り，単価は前年並みであった。
ま い わ し	石川，千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で32%下回り，単価は14%上回った。
さ ば	富山，三重で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で33%下回り，単価は25%上回った。
す る め い か	長崎，富山で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で45%上回り，単価は前年同月並みであった。
太 物	入荷量は前年同月比で4%下回ったが，単価は24%上回った。
び ん ち ょ う	鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で9%下回り，単価は10%上回った。
あ ま だ い	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で21%上回ったが，飲食店などの需要が伸びたことから，単価は10%上回った。

※ 太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で78%上回ったが、大型物の水揚げ減少が価格に影響し、単価は10%上回った。
冷 する め い か	入荷量は前年同月比で43%上回ったが、業務需要の伸びにより、単価は3%上回った。
(加工水産物)	
塩 さ ば	入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は13%上回った。
ち り め ん	入荷量は前年同月比で46%下回ったが、良質物の入荷が少なかったため、単価は4%下回った。